



## 既存のウイルス対策よりも 大幅に高い検出率を評価して採用

2年前にウイルスなどの攻撃が激増。  
既存のウイルス対策ソフトでは対応が困難と判断し、社内の検証で99%の検知率を出した  
Webroot SecureAnywhere® Business エンドポイントプロテクションを採用した。



### 株式会社ナック(証券コード:9788) 企業概略

業 種：サービス業  
設 立 日：1971年5月20日  
代表取締役会長：寺岡 豊彦  
代表取締役社長：吉村 寛  
所 在 地：東京都新宿区西新宿1-25-1  
新宿センタービル42階

### 導入以前の状況

- ・多い月には、8件以上のセキュリティインシデントが発生
- ・パターンファイルの配信が追いつかなくなっていた
- ・PCを初期化しなければウイルスを駆除できない

### 導入効果

- ・99%の確率でウイルスを検知
- ・リモートインストールは短時間に効率よく処理
- ・セキュリティ インシデントが激減
- ・運用負荷の軽減

1971年の創業から「暮らしのお役立ち企業」を目指してきた株式会社ナック。同社の強みは、異業種を組み合わせる「コングロマリット企業(複合企業)」です。ストックビジネスであるデリバリー系のビジネスを基盤に収益を安定的に確保し、フロービジネスである住宅事業や通販事業ビジネスでさらに収益を積み上げ、グループ全体の連結従業員数は約3,000名となり(2017年9月30日現在)、売上規模は1,000億円に届こうとしています。同社では、2年前から社員の利用するPCがウイルスの被害に遭う頻度が増えたことから、対策を強化するために複数のセキュリティ対策ソフトを検討し、Webroot SecureAnywhere® Business エンドポイントプロテクションを採用しました。

### 課題

#### 2年前にウイルス感染のアラートが頻発し 対応に追われた

株式会社ナックでは、グループ全体で約2,300台のPCが使われていました。そのPCが2年前から、ウイルス感染のアラートを頻発するようになりました。その背景について、同社のビジネスサポート本部 情報システム部部長の大嶋裕章氏は、次のように説明します。「当時は、著名なエンドポイントセキュリティソフトをすべてのPCに導入していました。それでも、フリーウェアや業務に関係のないサイトを閲覧するなどして、ウイルスに感染するPCが増えていました。ただ、ウイルス対策ソフトがアラートは出してくれていたため、我々の部署が迅速に対応して、深刻な被害に及ぶことはありませんでした。それでも中には、PCを初期化しなければウイルスを駆除できないなど、手間と時間のかかる対応も発生していました」

既存のウイルス対策ソフトによる対応が、常に後手に回っていた問題について、同部の谷生雄介氏は次のように分析します。「当時からすでに、パターンファイル



株式会社ナック 情報システム部  
部長 大嶋 裕章



株式会社ナック 情報システム部  
谷生 雄介

の配信が追いつかなくなっていたのだと思います。常に新種のウイルスが発生するので、Internet Explorerで閲覧している社員のPCは、エンドポイント セキュリティ ソフトを導入していても、感染しやすい状態にあったのだと思います」

多い月には、8件以上のセキュリティ インシデントが発生する状況になっていました。そこで、情報システム部としては、抜本的な対策に乗り出す必要があると考えて、新たなウイルス対策ソフトのリサーチを開始したのです。

## ソリューション

### CIO向けのセミナーでWebroot SecureAnywhere® Business エンドポイントプロテクションを知る

セキュリティ対策の見直しを検討していた大嶋氏は、CIO向けに開催されたセミナーの会場でWebroot SecureAnywhere® Business エンドポイントプロテクションの提案を受けました。その当時の様子について大嶋氏は「パターンファイルの更新に限界を感じていたので、どのような対策が効果的なのか模索していたときに、ウェブルートのフルクラウド型アプローチという技術を知りました。直感的に優れているという感触を得たので、社内に持ち帰って評価することにしました」と振り返ります。

情報システム部では、新たなセキュリティ対策の強化に向けてウェブルートを含めた製品の評価を開始しました。その経緯について谷生氏は「検証では著名な製品を含めて4~5社のエンドポイント セキュリティソフトをPCにインストールして、実際にウイルスに感染させ、その検知率を比較しました。その結果、ウェブルートは、ログイン処理が必要で閲覧できなかったサイトを除けば、99%の確率でウイルスを検知しました。それに対して、既存の3製品は70%ほどの検知率だったので、ウェブルートの採用を決めました」と話します。

## 導入効果

### 容易なリモートインストールとセキュリティ インシデントの激減

2年前からの検討を経て、株式会社ナックでは2016年4月から正式にWebroot SecureAnywhere® Business エンドポイントプロテクションの運用を開始しました。製品の導入に関して谷生氏は「約2,300台のPCに対しては、ActiveDirectoryのグループポリシーを利用して、リモートでインストールしました。事前にバッチ処理で古いエンドポイント セキュリティソフトをアンインストールしてから、Webroot SecureAnywhere® Business エンドポイントプロテクションをインストールしました。ファイルサイズが1MB前後だったこともあり、リモートインストールは短時間に効率よく処理できました」と説明します。

導入後の効果について大嶋氏は「セキュリティ インシデントが激減しました。導入から1年半が経過した現在では、ここ3ヶ月の間に



1件のインシデントが発生した程度です」と評価します。インシデントの激減に加えて、谷生氏は「ユーザーインターフェイスがとても使いやすく、日々の運用もとても楽になりました。例えば、アラートが発生したら、管理画面に表示されるポイントを2回から3回クリックするだけです。具体的には、アラートが上がってきたら、そのパソコンを選択して、ウイルスの履歴を確認し、クリーンアップのボタンを選ぶだけです」と運用負荷の軽減も評価します。

運用面の成果だけでなく、Webroot SecureAnywhere® Business エンドポイントプロテクションがサイトの安全度を色で示すようになったことで、「社員からは、閲覧するサイトの安全性を意識するようになった、という評価をもらっています」と大嶋氏は補足します。

## 今後の展望

### グループ会社への展開と継続的な安全性への期待

今後の方針について大嶋氏は「多くの事業分野を展開する当社では、今後もグループ会社が増えていく予定です。そうしたときに、新しくグループに加わった会社にも、同じレベルでセキュリティを維持できるように、Webroot SecureAnywhere® Business エンドポイントプロテクションを導入していきたいと思っています」と話します。また運用面について谷生氏は「セキュリティ対策などシステムのインフラ部分に対応できるスタッフの数は限られているので、これからも管理しやすい形で、できるだけインシデントを防いで、安全性を維持してもらいたいです」と期待を述べます。

最後に大嶋氏は「それと、ウェブルートという社名と製品名を日本でも、もっと広く認知してもらえたらと思います。多くの人が、エンドポイントセキュリティといえばウェブルートだと思いつかせるようになれば、我々もグループ会社への導入を推進しやすくなります」と要望を語ります。

お問い合わせ **WEBROOT®**

ウェブルート株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山 3-13-18 313 南青山 8F

URL <http://www.webroot.co.jp/>

WebrootJapan

@Webroot\_JP